

西新宿七丁目町会

青年部ニュース

No.31

青年部の灯をいつまでも

町会長 小林 秀雄



出席し、その月の活動報告や今後の予定などを発表しています。

実は、今年度の予算編成に当っては、各部から大幅な値上げ要求が出されました。幸い町内はビルの新築があいついであります。

西新宿七丁目町会には十七の部があり、それぞれの部が部長を先頭に積極的に活動を行っています。毎月八日の定例役員会には、各部の正副部長も

町会規約の第一条に「本会は西新宿七丁目地域内の居住者、並びに事務所又は営業所を有するものを以て組織する」と

うたっており、ビル内のテナントに入会をお勧めし、会員数を増やすことで予算の配分にも余裕が出来ると思います。

今回、川原青年部長からも大幅な値上げの要求が出されましたので、正副会長会で検討いたしましたところ、青年部の広範囲に亘る活動や町会の発展と親睦の為に多大な協力を得ていることなどを考慮し、要求を容認致

しました。

因みに、御神輿の渡御もかつぎ手がなく見合わせざるを得ない時勢に、青年部をはじめOBの方々の熱意で、毎年渡御が行われることは町会の誇りであり、まことに頼もしい限りです。

青年部員の減少傾向を聞いてはおりますが、今後とも青年部一同心をひとつに合わせ、いつまでも活躍されることを希望します。

愛される青年部

前青年部長 川原 康之

今年十月十三日に青年部の総会も無事に終り、私の青年部満年退部と共に二年間の部長の任期も

終ることになりました。任期中は町会の皆様や青年部々員の皆様に対し、行き届かない点が



九月二十三日、仲下陸の秋の祭典が柏木公園で

ありました。前日の二十二日に町内

祭典

(6B) 濱田 英世

の皆さんの手によって御酒所が立てられ、神輿が天神様から運ばれてきました。夜には、二十三日のための用意はすべて終わり、明日を待つばかりです。二十三日は昼の十二



時、子供神輿や山車が町内渡御、柏木公園に帰って来て、子供達はお菓子を貰い、いよいよ大人神輿の町内渡御になりました。

午後三時に柏木公園から出発し、五カ所の休憩所を通り、無事、柏木公園に帰って来ました。今年は女性が特に多く、賑やかになりました。来年も又、皆さんで祭典を楽しみましょう。



多々ございましたことを深くおわび申し上げます。

人の上に立つ器ではない私が二年間努めることが出来るか不安いっぱいでしたが、皆様の情にすが

第二十回 平成二年度総会

(2B) 嶋村 好彦

平成二年十月二十八日

午後三時より、第二十回総会が多数の部員の出席

で開催されました。

中野さんを議長に選出し、川原部長の挨拶で始



まり、平成二年度の事業経過報告、会計報告、会

り、励まされながら二年間いろいろ勉強させていただきました。

思い浮かべますと、昨年の「青年部二十周年記念」は私にとって忘れることの出来ない一生の思い出となりました。青年部の役員の皆様には無理難題を押し付けましたが、今あの時の役員の皆様の一生懸命頑張っていた姿の一つひとつが頭に浮かんできます。また、町会の皆様方におかれま

しても、本当にご協力を頂きまして大変有難うございました。

これほど皆様方に愛される青年部は幸せです。本当に感謝の念で一杯で、心から御礼を申し上げます。今後も嶋村新部長のもと、一致協力して頑張っていられることと思います。青年部の皆様の今後のご健闘とご健勝を御祈りいたします。本当に有難うございました。

計監査報告、平成三年度事業計画案、予算案と各担当役員からの報告がなされ、質疑応答の時、定年問題にも一部触れる質問が出されましたが、円満の内、土屋副部長の閉会の辞で無事終了いたしました。そして六時よりワシントンホテルに場所を移し、青年部二十周年パーティを催し、懇親会と兼ねさせていただきました。

その際、多数の町内の皆さんの御参加、ご協力、そして多大の御寄附を戴きましてまことに有りかとうございました。青年部の皆さんも、半年にも及ぶ準備の為、毎日のように夜おそくまで御苦労さまでした。感謝いたします。

ご寄附者名 (順不同・敬省略)

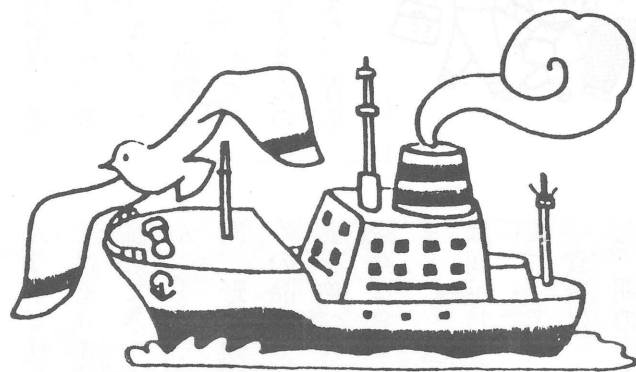


時屋 (吉川欽章)
上野 勝夫
浜田 英世
高橋 文子
石川 慶太郎
広小路会婦人部
前波商店
碓代美
福島 亨
大塚 敏男
川村 勝
林 一夫
小林善一郎
川原 康之
中野 正徳
小杉 悦一
石田 和雄
山本 豊吉

さ、雨で中止の時のむなしさ(?)等々、アルコールも回っているので爆笑のうちに恒例のカラオケ大会となり、私の札の挨拶と滝前部長の中メで無事終了致しました。

平成3年度防火防災パトロール			
収 入 金		支 出 金	
会 費	50,000	会 場 費	447,761
寄 附 金	400,000	景品その他	41,928
部 費 より	39,689		
	489,689		489,689

鈴木 康夫
中村 保信
新宿広小路会(佐々木憲二)
会田友太郎
小林 正典
佐藤 昌之
森井 光義
いたばし林田秀雄
宮島 右近
新宿警察署防犯係
荒井 保次
新井 正夫



尾澤 孝宜
美化部(阿部)
小林 佳直
渡辺 昭治
小野沢富士雄(寿司よし)
小林 六郎
田辺 光夫
渡辺 勝栄
新宿広小路会防犯部
笹生 栄一
河野 洋寿
近藤 隆二
半田 弘
西新宿新興会

西新宿パーキング
新宿警察署署長(高橋一夫)
サン理容室(芳賀照子)
東京消防庁新宿消防署
十二社出張所所長(志村孝陽)
児安 守
青木 徳次
喜多作(山岸久松)
婦人部
佐藤 豊
井西 将夫
日販(田村)
加賀谷良平

第十八回

防火・防犯パトロール

(6B) 中野 正徳

今年も十二月一日より二月二十八日まで三カ月の永きにわたり、部員はじめOBの皆様にご協力いただき無事終了することが出来ました。
年来の忙しいなか、寒風のなかもなんのその、パトロール終了後の「一杯」を楽しみにしていた人も多数いたのではないかと思います。
最後になりますが、次

回からは町会の行事となりますので、皆様のなご一層のご協力をお願いいたします。
永い間大変有りがとう御座居ました。
今後共よろしく願います。



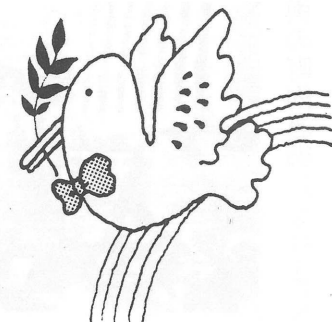
第十八回 防火・防犯

パトロール打ち上げ慰労会

(4B) 土屋 三郎

今年も長い冬が終り、三月三日、マイシティ八階のイセタンプチモンドで盛大に慰労会が開催されました。会場には、消

防、警察、町会からご来賓二十数名、パトロール員五十数名が出席、午後五時より慰労会が始まりました。
第二部は中野副部長の司会で、各ブロックのパトロール員の紹介、各ブロックごとに段上に登っていただき、一言づつパトロールの苦しさ、楽し



第一部は嶋村副部長の司会で、部長、町会長、消防署の挨拶の後、新宿警察署の藤井防犯係長より青年部に対し感謝状を頂き、続いて石川初代部長の乾杯で第二部慰労会

平成3年度レクリエーション			
収 入 金		支 出 金	
会 費	189,500	観 光 バ ス	298,700
寄 附 金	150,000	相模湖ピクニックランド (入園、食事etc)	254,500
部 費 より	358,001	その他 (飲物、高速代etc)	144,301
697,501		697,501	

い、皆、今日一日の事が、楽しい思い出となって、心の中に残ってくれた事と思います。

そして、無事に夕暮れの新宿に帰って来る事が出来ました。

最後に、今回のリクリエーションに御協力下さいました大勢の皆様、ならびに、御寄附者の皆様、大変有難うございました。来年もよろしく。

西新宿七丁目の中心、柏木公園脇で三十有余年間にわたり、住民のみな

ありがとう「喜多作」

(2B) 新谷 巧

らず地域の会社員らに親しまれていた「喜多作」(山岸久松氏経営)が十

ご寄附者名 (順不同・敬省略)

こずえ(安藤) 鈴木 康夫 小嶋 茂 天秀(石鍋) 佐藤 昌之 田辺 光夫 金子 佳雄 半田 弘 山形しあわせ銀行 石田 和雄 大塚 敏男 上野 勝夫 笹生 栄一 笹代美 宮島 右近 近藤 隆二 小林 佳直 渡辺 勝栄 渡辺 昭治 清水 孝 サンロイヤル(鈴木) 滝 良貞

中村 保信 小林 正典 浅井 憲龍 小林 秀雄 中野 正徳 尾澤 孝宜 川原 康之 森井 光義 新宿タウンホテル(小林) 笹生 栄一 いたばし 小林 六郎 新井 正夫 三井 義夫 俵千徳食品 石川 時義 日販(田村) 村上 頼弘 浜田 英世 土屋 三郎 嶋村 好彦



リクリエーション

(7B) 石川 謙一

六月十六日早朝、今日は七丁目青年部主催のリクリエーションの日です。しかし、昨日から降り続けている雨がまだ止みません。

集合場所の常円寺前には、雨にも負けず、風にも負けず、九十余名の参加者が続々と集まってきました。しかし、無情にも空からは大粒の雨が降っています。

出発の時間がせまり、参加者を乗せた二台の大型バスは、雨の新宿を後に一路目的の地、相模湖ピクニックランドへと向いました。

さて「トンネルをぬけると……」の明文ではありませんが、事実、高速道路のトンネルをぬけると雨が降っていました。これは一重に歴代部長ならびに参加者全員の願いが天に通じたのでしょうか。

さて、高速道路から降りた二台のバスは、相模湖の湖岸を通り、無事、目的地ピクニックランドへ到着しました。

さっそく現地では本部の設営、そして、昼食までの間酒宴となり、まずは一息。すでに子供達は、園内の乗物や各施設で遊



び回っています。

ところで園内には、迷路、ゴーカート、ボブスレー、パターゴルフ、ラジコンコーナー、動物ふれあいコーナー、キャンプ場、その他たくさんさんの施設があり、また、青年

部お得意のバーベキューコーナーもあり、今回も、屋根付きバーベキューハウスを下見の時に予約をして置きました。

ところが、この昼食時のバーベキューハウスは飲食物持ち込み不可の施

設なのです。しかし、そんな事で怯む西七青年部ではありません。予め用意してきた酒類はもちろん、イカ、魚、ハマグリ、肉、野菜類、その他数多くの品々で、テーブルの上を食べきれないほどの豪華な食卓にしてしまいました。参加者の皆さんは満足してくれた事と思います。

食後は、本部前に集合し、朝の雨が信じられない様な太陽の下で、子供達の為にスイカ割りを行いました。子供達はすでに割られてしまったスイカに向って、何回も順番を持ち、家庭では出来ない遊びに無中になって楽しんでおり、また、部員やOBの方々の付添いで、大人のゴーカートなどの乗物にも乗せてもら

月一杯で営業をやめた。
毎年九月に開催される
例大祭の時には、設営時
から鉢洗いまで、また、
夜の泊りに至るまで、青
年部員をはじめ町会員の
食事などの世話を十数年
間にわたってしてくれた
喜多作が無くなった。

次の例大祭では、今ま
で喜多作にお願いしてい
たこれらのことを、どう
いう形で行っていけばよ
いのか頭の痛いものでは
あるが、これも時代の流
れとして受け止めなけれ
ばならないと思うと一末
の寂しさを禁じ得ない。
十一月二日に喜多作で
開かれた宴会には、小林
秀雄町会長をはじめ町会
の御歴々が多数参加、喜
多作の七丁目での最後の
宴を過ごした。
山岸さんが「七丁目か

ら離れた場所で店を再開
しようと思ったが、今ま
で世話になった七丁目の
方々のことを思うと、や
はり遠くへは行けなかつ
た」というように、十二
月からは中野坂上で新た
な喜多作を再開店した。
山岸さん、奥さんの幸

楽しかった、
えんにち
石川麻衣子

いよいよ楽しみにして
いたえんにちの日がさま
した。
おとうとは、おにたい
じが好きで、五、六回や
りました。それからくだ

代さんは共々「中野に
行っても心は七丁目」と、
今後も各催し事の際には
「七丁目の住民として参
加させてもらいたい」と
話していた。
喜多作の今後の繁栄を
願わずにはられない。

ものゲームでは、すいか
をねらって何回もやりま
した。かきごおりもとて
もおもしろかったです。
金魚すくいでは、何回

平成3年度子供縁日			
収 入 金		支 出 金	
前 売 券	44,000	材 料 費 景品 etc	318,087
当 日 券	39,110		
寄 附 金	222,000		
部 費 以 外	12,977		
	318,087		318,087

ご寄附者名 (順不同・敬省略)
青木 徳次
田辺 光夫
渡辺 勝栄
佐藤 昌之
佐藤 豊
新宿警察署防犯課
森井 光義
前波 商店
浅井 憲龍
小林 正典
井西 正一
桜井 聖明
鈴木 康夫
高須 保
児安 守
尾澤 孝宜
時屋 (福村)
川原 康之

やっても紙がやぶれてし
まってすくえませんでした。
でも、おじさんは何
ひきもふくろにいれてく
れてとてもうれしかった
です。家にかえって水そ
うに入れました。金魚が
いっぱいになってとても
にぎやかになりました。
えさをあげて大きく育て
たいと思います。
また来年も楽しみで
す。

で行われ、たくさんの方
々に賞品が渡りまし
た。また、ビンゴ大会で
入賞できなかった方も、
奇麗な花をもらって、と
ても楽しい新年会だった
と思います。
最後に新年会におい
て、たくさんのお花を安
譲って戴いた、花善さん
と、東都園芸さん、それ
にご寄付を下さった方々
にこの紙面をお借りして
御礼申し上げます。

梶代美

ご寄附者名 (順不同・敬省略)

近藤 隆二
半田 弘
尾澤 孝宜
中野 正徳
笹生 栄一
春日 一郎
小林 佳直
宮島 右近
大塚 敏男
小林 六郎
いたばし (林田秀雄)
川原 康之
川村 勝
嶋村 好彦
土屋 三郎

平成三年・青年部
新年会&ボーリング大会

(6B) 清水 孝



準優勝が私の妻のヨシ
子で、第三位が私となり、
ボーリング大会後、同
ボーリング場のパー
ティー会場で行われた懇

今年の西新宿七丁目町

致しました。

会青年部新年会は一月二
十日(日)、高田馬場シ
チズンボウルで行われま
した。

ひさしぶりと言う事で
人数が集まるか心配でし
ましたが、六十二名もの参
加が有り、「ぼてじゃこ」
の森井光義さんが、三

三年間続いたビーチ
ボール・バレーボール大
会に変わって、四年ぶり
にボーリング大会が復活

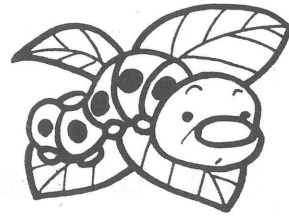
ゲームトータル、五百三
十七のスコアで優勝しま
した。

好例のビンゴ大会は、
まさか優勝するとは思わ
なかった森井さんの司会

西七ゴルフ同好会

森井 光義

ゴルフ同好会も今回（十月二十七日）で八回目を迎えました。しかし、



近年ゴルフ人口は増加しており、年々ゴルフ場を確保するのが困難となってきました。

「何故ゴルフは面白いのか」。これは実際にやっ

てみなければわからないと思います。私の場合は、いろいろな方とプレイをして技術の向上のほか、人間的にも少しは成長したと思っております。

これからは増々高齢化社会となり、幾つになっても出来るスポーツは大切なものとなります。その点でもゴルフは最適ではないでしょうか。最後にありますが、日曜日に五組か六組ゴルフ場が取れる方がおりましたら、是非御一報下さい。よろしくお願い致します。

町会OB納涼会

(3B) 渡辺 望博

平成三年七月二十八日、OBの納涼会屋形船に参加しました。

柏木公園に集合して、新宿駅から山手線に乗り、新橋駅で降りて屋形船に乗りました。

船が動きだすころにはあたりも暗くなり、東京タワーや横浜ベイブリッジがとてもきれいに見えました。

みんなお酒が入るまでは静かでしたが、お酒が



入ると飲んで食べて歌って盛り上がりました。

とにかくお酒はもちろん、料理はさしみや鍋、巻寿司のほか天ぷらなどが次々とでて、食べきれないほどでした。

みんなでワイワイガヤガヤさわいであるうちに、いつのまにか船宿についてしまいました。

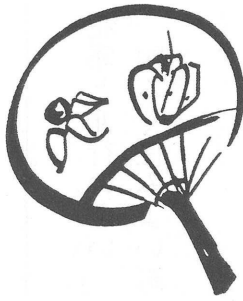
本当に時間を忘れてしまふほど楽しい一日でした。

第九代目青年部々長、

川原康之さん時の役員会も平成三年十月十五日（土）を持ちまして無事終了いたしました。

この二年間を振り返ってみれば、永いようで短くも思え、また、毎月駆け廻ったつもり割には何をやったのか、皆目覚えていない有様です。

月一回の定例、各行事等の前の臨時役員会と決めなければならない事、準備しなければならない事、町内の皆様方へのお願い、ご連絡する事等々、良くもマァーいろいろとあるものだと思います、会は活発でカンカン



ガクガクの会議でした。

特に「青年部創立二十周年記念大会」の折りの、約一カ月前からは三、四日おきぐらいに、その他各担当部署によつては別々に打合せを行うなど、この結果と燃える様な熱意には、今以って忘

雑感・定例役員会

(4B) 田中 直久

れらない思い出です。

それにしましてもこの役員さん達は、なくて七癖、数えると両手両足でもたりないと思える程、「アクの強い」と申しましようか、「個性の強い」方々といましようか、何ともいいがたき「猛者

集団」でした。年齢も二十歳頃から四十五、六歳までの幅広い層にわたり、考え方も年代によつて別の角度からの物見かたをお教えていただき、大変ありがたい思いでした。

総じて若い方々の活躍

により、役員会はおおいに盛り上り、各種行事等もうまく運んだ様に思うのは私一人ではないでしょう。会の発展が益々期待をします。

役員会が終りますと喉はカラカラで、まずは一杯と皆で場所を変え、

会議の延長戦をやった事も再三ではありませんでした。その後でマージャンに足をむけ、一日二十四時間では足りないと思ふをこねる様な愉快な、楽しい仲間達でした。

この青年部ニュースが皆様のお手元に届く頃には、第十代目の青年部々長も決まり、また、装いも新たに優秀なスタッフで役員会がスタートしている事でしょう。どうか今後共名簿上の役員と言う事でなく、会議に、出席し、このスバラシイ青年部を支え、ひいては西七町会の発展に尽くして下さいる事をお願い致します。

皆様の益々の御活躍を祈ってペンを置きます。「青年部、万歳！バンザイ！」

犯罪と非行のない
明るく住みよい町

防犯部長 加賀谷良平

秋の名物、仲下の睦の大祭もお蔭様で好天に恵まれながら無事終了。秋の行事である交通安全週間、防犯の秋の集い等が

思って居りましたものがありましてので、写しで申し訳ありませんがこれでかんべんして下さい。

「あたりまえ」

こんな素晴らしいことをみんな何故喜ばないのでしょうか。あたりまえであることを！

お父さんがいる、お母さんがいる、手が二本あって、足が二本ある。行きたい所へ、自分で歩いて行ける。手を延ばせば、何でも取れる。音が聞こえて、声が出る……。こんな幸せがあるのでしょうか。併し誰もそれを喜ばない、あたりまえだと笑ってすます。食事が食べられる、夜になるとちゃんと眠れ、そして又、朝が来る。空気を胸一杯吸える、笑える、泣ける、

叫ぶことが出来る。走り廻れる。みんなあたりまえのこと。こんな素晴らしいことを、みんな決して喜ばない。その有りがたさを知っているのは、それを失くした人たちだけ。なぜでしょう？

あたりまえだから。今後も大いに頑張ってくださいますと共に、部員皆様のご健康を心から祈り申しあげます。

組織部の課題と現状

組織部長 小林 佳直

先般編集の新谷様から何か原稿をとお願いされましたが、先日知人から頂いた用紙の中に、今の子供さん達にこんな気持ちで生活して頂きたいと

平成元年に町会組織部が新たに誕生し、翌年六月まで初代部長だった田

辺さんから私にバトンタッチされたこと記憶しております。

田辺さんは永年住み慣れた住居からの移転を余儀なくした経緯での辞退で、本来もつとやっていたできたかったわけですが、誠に残念というほかはありませんでした。その間、名簿の作成をはじめ基礎づくりに貢献さ

れ、心から感謝致しております。

さて、当町会に組織部なるものがスタートした背景や今後の課題を考え

転出か、と思われる激動が続く中で、これでは町づくりは今後不可能に近づく一方となってしまう

更に、年四回発行の「西新宿七丁目町会新聞」や柏木コミュニティ実行委員会発行の「わがまちかしわざ」、その他の配布物についても、集金同様のシステムでやっていた

べくお願いしております。

これらがしつかり定着すれば、集金洩れとか或いは新聞が届いていない等のミスや苦情が絶無となることは明白です。

つまり、昨今では地域の人々の流入・流出が激しく、その為に既存体制からの脱皮を図らなければ町会の円滑な運営が阻害されてしまうからです。

ます。

ます。

OB親睦会

OB会前会長 大塚 敏男

振返って見ますと、今までは特定、且つ小人数の篤志の人だけに既述の業務を依存していたきらいが強く、中には一人で何十軒もの多くを担当していたきてきた有様でした。明日はわが身も

そこで現在の組織づくりの一環として、七丁目町会を九地区に区割りし、各地区毎に地区長を選出し、それぞれの地区で出来るだけ多くの委員の参加をいただいて、例えば①で云うならば、既存の集金先と共に新たな会員の勧誘促進を果たそうとするものです。担当者が多い地区程担当範囲を細分化出来、個々の負担は軽減し、何より即応し易いということです。

好天に恵まれ「ワッショイ！ワッショイ！」の掛け声も高らかに、今年も大神輿町内渡御が行われました。人と人との調和と力で神輿をかつぎ、老若男女を問わず皆で楽しめる「祭り」、この時節を迎えると、OB親睦会も「総会」という最

大の行事が待っている。今年は役員改選時に当たり、私の会長としての任期も満了となります。

さて、二年前に会長として大変な責務を負う事となりました。思い起こせば色々な事が浮んで来ますが、役員の皆様の暖かいご協力とご指導によ

り、年内行事を一つ一つ無事計画通り親睦と和を基調に推進出来ました事を、ここに心から感謝申し上げます。

青年部のOBとして会を運営、青年部の皆様にも部長はじめ色々のご協力賜って参りました。やがて来る青年部とOB会の会員数の不均衡、青年部の部員とOB会の会員は、現役よりOBの方が

多くなる事は目前である。青年部、OB会は兄弟である。今後共、良き相談相手になって、合理的な運営を期するものです。

最後に、町会の中核部で活躍するOB会の皆様が、益々町会の発展の為に寄与し、邁進する事を祈念し、私の二年間の御礼の言葉と致します。有難うございました。

「防災訓練」に参加して

防災副部長 上野 勝夫

「九月一日」の防災の日には私共町会の皆様は、防災時を想定した各々の服装で、区の総合防災訓練に参加しました。

日曜日に当たる防災の日でしたので、各家庭、

各人にはお休みの日の予定があつた事と思いますが、たくさんの方々が会場である「北新宿公園」に参集いたしてくれました。

各町会単位で「防災訓



練」に参加、会場狭しと真剣に行政の指導のもとに訓練を受けていた姿は、有意義な事と思えました。

訓練終了後、町内に戻り反省会を開催、防災部長の大塚さんより、恒例の「防災自主訓練」を十

月に柏木公園で実施する件は、区の総合防災訓練に参加、体験をして来たので、今回は実施しないという事に決定！
いつ来るか知れぬ災害の為に、町の皆様の手を取り合う心を持ちましよう！

交通部だより

地域安全活動推進委員

交通部長 会田友太郎

平素は交通部の運営に對してご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私共交通部は、春と秋に行われる『全国交通安全運動』に対し、本年より小林時計店様の前の空地を利用してテント本部を設営させて頂きました。過去永い間、常円寺様の山門の入口をお借りしていましたが、常円寺様の建設工事等もあり、テント本部の移動がなされた事をご報告申し上げます。

「町会新聞」の五号をご覧頂けるとご理解されると思いますが、昨年の

一月より「道路交通法」

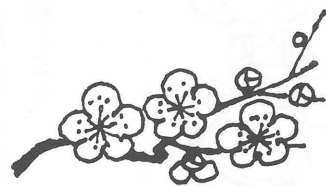
の改制がなされ、七月一日より「保管場所法」の一部改正がなされるという、交通行政の大幅な変更がみられ、「放置駐車」の追放」という交通事故防止対策の推進を余儀な



くされました。

九月十八日には町会会館にて、新宿警察署の交通課長を講師として「特別交通安全講習会」を開催、多数の町会の方々が出席されました事は、交通安全運動の啓蒙として成功したと思います。

これからも、交通安全の為に企画、推進を計り、町会の皆様のご協力を賜りたく存じます。



新聞作りにご協力を！

広報部長 滝 良貞

創刊から一年余り、お陰様で先日第六号の発行に到りました。これも一重に、皆様方のご協力の賜と、深く感謝致しております。しかし、まだまだ参加人員が少なく、編集長の上野さんに「おんぶにだっこ」の様な状態です。青年部の皆様も、町会の皆様も、もつともつと参加して頂きたいと思ひます。

婦人部より

婦人部長 村上 暢子

前部長の川原さんご苦労様でした。又新部長嶋村さんの誕生おめでとうございます。二十周年行事も無事に終えられ、増々充実なされ、新役員がバッチリとスクラムを組んで、すべての行事に全力を上げてアタックし

紙面のレイアウト、原稿の校正—等々、頭の体操にもなります。

町には、若い力が必要です。青年部の皆様一人ひとりが、原動力なので

す。今後とも、新聞作りにご理解を頂き、ご協力をお願い申し上げます。

ていかれる事でしょう。

私も青年部とは長い間お付合をさせて頂いておりますが、今の青年部の若手の方は、おそらく我子より若いと思います。そんな方々と町会の仕事が出来ると思うだけで幸せです。



又若い方からお教えられる事がたくさんあります。なるべく若い方に遅れない様頭の栄養を一杯取って頑張っています。が、おいつかないでしょう。当然！でも気を落さず、これからも一生懸命頭だけでもせめて若返りを図りたいと思つていきますので、宜しくお引き廻しの程お願い致します。

これからも町会の為に、また、部の為に活躍ご発展なされます様お祈り致します。

“体”で奉仕の青年部

(7B) 城市 隆門

九月十五日の敬老の日、日比谷公会堂で行われた警視庁、(財)東京交通安全協会主催の「交通安全東京都大会」に、青年部から新谷巧さんと二人で参加した。

九月二十日から全国一斉に展開される「秋の全国交通安全運動」を前に、都内各署から関係者が一同に集まり毎年一回開催されているもの。

午後一時、常泉院前の青梅街道に集まった我々は、新宿警察の車で会場の日比谷公会堂へ。

午後二時から始まった安全大会には都内九十七

署から約千二百人が参加、会場には仁平園雄警視總監や東京都初の女性副知事、金平輝子副知事も出席、昨今問題となっている違法駐車問題についていろいろな取り組みなどが報告された。

違法駐車の問題は都庁の真近にある我が西新宿七丁目でも深刻な問題で、町内の裏道には終日違法な駐車が繰り返されているが、このほとんどは各ビルに入居している法人関係のものと思われる。

安全大会についての報告はこの位だが、会田交

通部長から「青年部からよく二人も参加してくれた」「六人も参加者があつたおかげで、」新宿警察署管内に七丁目有り”を示せた”などと喜ばれたことも合わせて報告しておきたい。

町会の各行事に青年部として協力できる最大のものは“体”ということ、を、より一層自覚させられる会田交通部長の言葉だった。

ビンゴの “森井”
青年部一同

“七丁目の宴席にこの人有り”と言われる森井光義氏(スナック「ぼてじゃこ」経営)。

宴たけなわになったころ、やおら出席者に一枚づつカードを配り、“助

手”を伴って壇上へ。

七十数個の丸い玉を入れた道具を持ち出し、独特の関西弁で一氣に場を盛り上げる。

そう、七丁目の宴席には欠くことのできない“森井のビンゴゲーム”の始まりだ。

ただ酒食で懇親を深めるだけでなく、ゲームも交えて、より付き合いを広げていくことは七丁目の特徴だが、森井氏のよいうな人材がいて初めて出来ること。

「出演料をもらわなければ合わない」と言いつつ喜色満面の森井氏。

進行役には決して景品は当たらないが、それでも率先してこの役を努める。

やはり、七丁目には無くてはならない人材だ。

★来年度行事予定

十二月 パトロール開始

一月 新年会

二月 麻雀大会

三月 パトロール打上

リクリエーション

(スキー大会)

四月 未定

五月 野球同好会

七月 旅行同好会

八月 縁日

九月 祭礼

十月 総会

十一月 ゴルフ同好会

★新入部員紹介

1 B

浅井 憲照 二十六歳

西新宿七・十二・五

2 B

戸叶 明 三十歳

西新宿七・二十三・十四

5 B

本間 博 三十歳

西新宿七・九・七

松野 兼治 二十五歳

西新宿七・七・七

匹野 房子

西新宿七・十六・十五

6 B

鈴木 俊紀 二十一歳

西新宿七・十四・十二

下斗米 資郎 四十二歳

西新宿七・九・十四

吉村 友亨 二十五歳

西新宿七・十一・十六

松本 慎太郎 二十四歳

西新宿七・十一・十六

鈴木 正 三十八歳

西新宿七・七・二十五

大前 智之 二十八歳

西新宿七・七・二十五

中川 洋一 三十八歳

西新宿七・十一・二十

★お誕生日おめでとう

戸叶 明・美雪

西新宿七・二十三・十四

三年四月十六日生

長男 拓也君

石川 佳男・和子

西新宿七・二十一・二

三年六月十六日生

長女 詩織ちゃん

大塚康弘・香澄

西新宿七・十五・五

三年七月十二生

次女 一二美ちゃん

林 英夫・桂

西新宿七・七・二十一

三年九月七日生

三女 萌子ちゃん

渡辺 望博・三枝

西新宿七・十九・二十二

三年十一月二十二日生

長女 舞ちゃん

編集後記

毎年いつもの行事・催事を幾度重ねていても、

いざ文章を原稿に書き込もうとしても記憶がすぐに戻ってきません。

月日が経つといかに過ぎ去った時の事があやふやなものか、自分が感じている以上に原稿をお願いした方々の心境がうかがえます。

又しても青年部ニュースの発行が遅滞してしまいました。誠に申し訳けなく思っています。

原稿はやはりその度、用紙を渡し忘れないうちに依頼して書いてしまうのがよいようです。

今回改選となり、新編集長・副部長が決まり、前任者以上に内容のよい青年部ニュースが作製されるものと確信し、また、期待しています。

編集長 新谷 巧